

農政情報 I

新津郷用水農業水利事業所が開所しました

令和2年8月1日に北陸農政局新津郷用水農業水利事業所が発足しました。

当事業所は、国営新津郷農業水利事業(昭和47年度～平成元年度)により造成された車場・水田揚水機場、幹線用水路等の基幹的な農業水利施設の改修及び需要主導型の水利システムへの再編に向け、番詰憲彦事業所長他8名の職員での開所となりました。

事業所開所式は、令和2年10月8日(木)に、新型コロナ禍の影響を勘案し、来賓及び関係者約13名と規模を縮小して開催しました。

まず、事業所玄関に岩濱洋海北陸農政局長、高井一郎国営土地改良事業新津郷阿賀野川左岸地区推進協議会長、緒方和之新潟県農地部長、番詰事業所長の手により看板を上掲し、国営新津郷用水土地改良事業としての第一歩を踏み出しました。

事業所開所式においては、岩濱北陸農政局長の「本事業を契機として、地域の皆様が安心して農業を営まれ、経営規模を拡大し、儲かる農業を実践していただきたい。」等の式辞の後、緒方新潟県農地部長より「高収益作物への転換など一日も早く事業効果が発現されることを期待している。」、高井国営土地改良事業新津郷阿賀野川左岸地区推進協議会長より「維持管理費の縮減はもとより、用水管理や営農面で大きく利便性が向上するものと期待している。」と祝辞をいただきました。最後に番詰事業所長より事業概要説明と職員紹介を行い、式を終えました。

新津郷用水農業水利事業所職員一同、地元からの本事業への思いを胸に、本事業の円滑な推進に励んで参ります。



左から岩濱洋海北陸農政局長、
高井一郎国営土地改良事業新津郷
阿賀野川左岸地区推進協議会長
(新津郷土地改良区理事長)



来賓、職員一同



事業所へのアクセスマップ

新津郷用水農業水利事業の事業概要

本地区の車場・水田揚水機場、幹線用水路等の基幹的な農業水利施設は、国営新津郷土地改良事業(昭和47年度～平成元年度)により造成されました。経年的な施設の劣化により農業用水の安定供給に支障を来しているとともに、施設の維持管理費用の増大及び圃場の水管管理作業に多大な労力を要しています。

このため、老朽化が進行している農業水利施設の改修に併せて、揚水機場、パイプライン及び調圧水槽で構成する需要主導型の水利システムへの再編を行います。また、関連事業で区画整理を実施することにより、農業用水の安定供給、維持管理の費用と労力の軽減及び水管管理の合理化を図り、農業生産性の向上、農業構造の改善及び農地集積の促進に寄与することを目的としています。

